



Weekly

尾張旭ロータリークラブ

・会長 加藤清久・幹事 舟橋龍秀・公共イメージ向上委員長 桜井雅博
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : jim@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org

2019-20 年度地区方針「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

本日 第2355回 2019年11月15日(金) No. 2237

本日のプログラム Today's Program

点 鐘 12:30

ロータリーソング「奉仕の理想」

卓話担当者:ロータリー財団委員会

卓話者:地区ホリオプラス/職業研修チーム委員会

副委員長 青山 貴彦さん

演 題:「ロータリー財団の多様性について」

前回 第2354回 2019年11月10日(日) 記 録

**国際ロータリー第2760地区
地区大会 於ホテルナゴヤキャッスル
ホスト:名古屋清須ロータリークラブ**

- 出席者：加藤 清久会長、松永 洋子副幹事
 飯田 幸雄さん、井田 武憲さん
 岡本 和士さん、金森 俊輔さん
 菊田 利昭さん、桜井 雅博さん
 谷口 亜弥さん、仲澤 昌容さん
 中森 正裕さん、西尾 輝久さん
 古橋エツ子さん、古橋 裕志さん
 箕輪 良孝さん、森井 晴生さん
 山田 直樹さん

2019-20年度 国際ロータリー第2760地区
地区大会のご案内

水・歴史・人
織りなす都市
清須

信長像 濃姫像



大会第1日目 2019年11月9日(土)	大会第2日目 2019年11月10日(日)
10:00 青少年フォーラム 開会	9:30 本会議 受付
14:30 本会議 受付	10:00 本会議 開会
15:00 本会議 開会	11:40 RI会長代理主催顕彰昼食会 友愛の広場
16:30 本会議 閉会	13:00 本会議 午後の部
16:50 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 受付	14:15 記念講演 橋下 徹氏
17:30 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 開会	16:00 本会議 閉会
19:30 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 閉会	
青少年フォーラム 2019年11月9日(土) 10:00~12:30	ファミリープログラム 2019年11月10日(日) 10:00~14:00 名古屋城散策

ロータリー財団月間

	11月22日(金)	11月29日(金)	12月6日(金)	12月13日(金)
例 会 予 定	卓話担当者:森 和実 尾張旭市長 (名誉会員) 卓話者: 〃 演題:「市長と議員」	休会 (定款による)	年次総会 卓話担当者:古橋エツ子君 卓話者: 〃 演題:「未定」	卓話担当者:IM・50周年準備 委員会 卓話者:箕輪IM・50周年準備 委員長 演題:「クラブフォーラム」

11月1日(金)卓話



「ロータリー米山記念奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会 副委員長 小栗 正章

日頃は米山記念奨学事業へのご理解とご協力を頂き、誠に有り難うございます。また、尾張旭RC様には、これまでに奨学生15名を受け入れて頂き、普通寄付金と特別寄付金を合せて累計で3,000万円を今年の6月末までに頂戴しております。重ねて御礼申し上げます。

米山記念奨学事業は1952年、日本最初のRCを設立した米山梅吉さんの功績を記念して設立された奨学制度で、外国人留学生の方のみを対象としております。この奨学事業は、設立67周年を迎えました。なぜ外国人留学生かという点、『二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に国際親善と世界平和に寄与したい』という当時のロータリアンたちの強い願いがあった為です。

事業規模の大きさを見ると、今年度の奨学生数は868人、これまでの累計では、世界129の国と地域から21,000人ほど受け入れています。出身国別では中国・韓国・台湾の3カ国が約7割を占めます。収支については、2018年度の収入合計が15億円5千万円、支出合計が15億円ですので、財産増加額が5千万円になっています。この中で特筆すべきものは、2018年度の利子収入5千万円と管理費5千万円です。基本財産の50億円と、特別積立財産の41億円の財産を、利回り0.5%で運用すると5千万円となるので、それが利子収入になって管理費の方へ流れていきます。皆様から頂戴する寄付金は、奨学生に直接使用させて頂いています。

寄付には普通寄付金と特別寄付金の2種類があり、尾張旭RC様は普通寄付金として1人当たり年間15,000円、特別寄付金として1人当たり年間8,450円を、事務局を通じて頂いております。普通寄付金は、年間868人の奨学生をお世話する為の安定財源になっています。特別寄付金は個人・法人より頂戴しており、金額に決まりはありません。

また、寄付に対しては表彰制度があり、個人では累計10万円のご寄付を頂くと米山功労者として表彰されます。

さらに、税法上の優遇措置もあり、個人が寄付をした場合は税額控除と所得控除のどちらかを選ぶこと

が出来ます。税額控除は寄付額から2,000円を引いた残りの40%の額、所得控除は寄付額から2,000円を引いた残りに所得税率(課税所得額により異なる)を掛けた額が、それぞれ控除額となります。例えば、1万円を寄付したとすると、税額控除では3,200円、所得控除(所得税率が23%の場合)では1,840円となりますので、税額控除の方が得だということになります。ただし、寄付金控除を受ける為には税務署への確定申告が必要となります。また、法人として寄付された場合は、法人税額及び地方税額が軽減されるという優遇措置があります。

米山記念奨学委員会としては、国際奉仕事業の1つとして米山奨学生を育てるということをやっております。芽が出る(開花する)のに時間はかかりますが、引き続きご理解・ご協力を賜りまして、皆様のお力で1人でも多く、未来に架ける『平和の懸け橋』となる人材を国際社会へ送り出していきたいと思っております。ぜひご支援を宜しくお願い申し上げます。

10月ガバナー月信表紙



警固隊とは、「飾り馬一馬の塔(おまんとう)」を守る「鉄砲隊」や「棒の手隊」による警固の隊列のことです。秋祭りでは、本地ヶ原神社への奉納と

各町内の公園で、多くの小学生が棒や太刀を使う棒の手の演技披露をします。



尾張旭市どうだん邸

尾張旭市どうだん邸の母屋は享保8年(1723年)に岐阜県飛騨市に居宅として建てられ、昭和17年に改修移築されました。庭園の美しいドウダンツツジは邸の名前の由来となっております。春と秋には一般公開しています。

第1回セミナー例会中日新聞掲載

尾張旭ロータリークラブ
産後、腰痛、骨盤ケアに
関するセミナーが10月18日、尾張旭市東大通り原田のグリーンシティアケビルで実施された。

セミナーは同RCが住みよみ町づくりを目標として昨年からはじめ、本年度は「子育てママを明るく元気に育てる」をテーマに開催する。

一回目となったこの日は、十七組の親子が参加。講師を務めた産後指導士田中祐子さんは、出産による骨盤がゆがんだままになる可能性に触れ、一生の中で

出産で抱える不調 骨盤ケアし快適に
尾張旭RCがセミナー

骨盤のケアについて解説する田中さん。尾張旭市東大通り原田で。

田中さんは最後「体の状態を知ることができれば自分だけ、笑顔でいられるようにできるのも自分だけ。自分のことを思い、つばい大事にしてください」と呼び掛けた。

2019年
11月13日(水)
中日新聞
なごや東版
掲載記事